

国有林野と現行計画の概要 (肱川森林計画区)

国有林野の森林計画に関する地区懇談会

令和8年9月3日
四国森林管理局



国民の森林
国有林



1	四国の森林・林業	1) 四国の森林の概要	3
		2) 人工林の齢級別・樹種別面積	4
		3) 素材生産量の推移	6
		4) 大型製材工場、木質バイオマス発電所等の位置	7
2	森林計画制度	1) 我が国の森林計画制度	9
		2) 四国の森林計画区	10
		3) 森林計画策定のプロセス	11
3	現行の国有林野の 森林計画の概要	1) 肱川森林計画区の特徴	13
		2) 機能類型区分	15
		3) 主要事業の実施状況	18
		4) 特に効率的な施業を推進する森林	19
		5) 木材の安定供給への取組	22
		6) 地域に貢献する国有林	23
		7) 森林・林業技術者等の育成支援	24
		8) レクリエーションの森	25
		9) 保護林	26
		10) 国有林の維持・保全	27
		11) 民有林との連携	28
		12) 生物多様性に配慮した森林施業	29



1	四国の森林・林業	1) 四国の森林の概要	3
		2) 人工林の齢級別・樹種別面積	4
		3) 素材生産量の推移	6
		4) 大型製材工場、木質バイオマス発電所等の位置	7
2	森林計画制度	1) 我が国の森林計画制度	9
		2) 四国の森林計画区	10
		3) 森林計画策定のプロセス	11
3	現行の国有林野の 森林計画の概要	1) 肱川森林計画区の特徴	13
		2) 機能類型区分	15
		3) 主要事業の実施状況	18
		4) 特に効率的な施業を推進する森林	19
		5) 木材の安定供給への取組	22
		6) 地域に貢献する国有林	23
		7) 森林・林業技術者等の育成支援	24
		8) レクリエーションの森	25
		9) 保護林	26
		10) 国有林の維持・保全	27
		11) 民有林との連携	28
		12) 生物多様性に配慮した森林施業	29

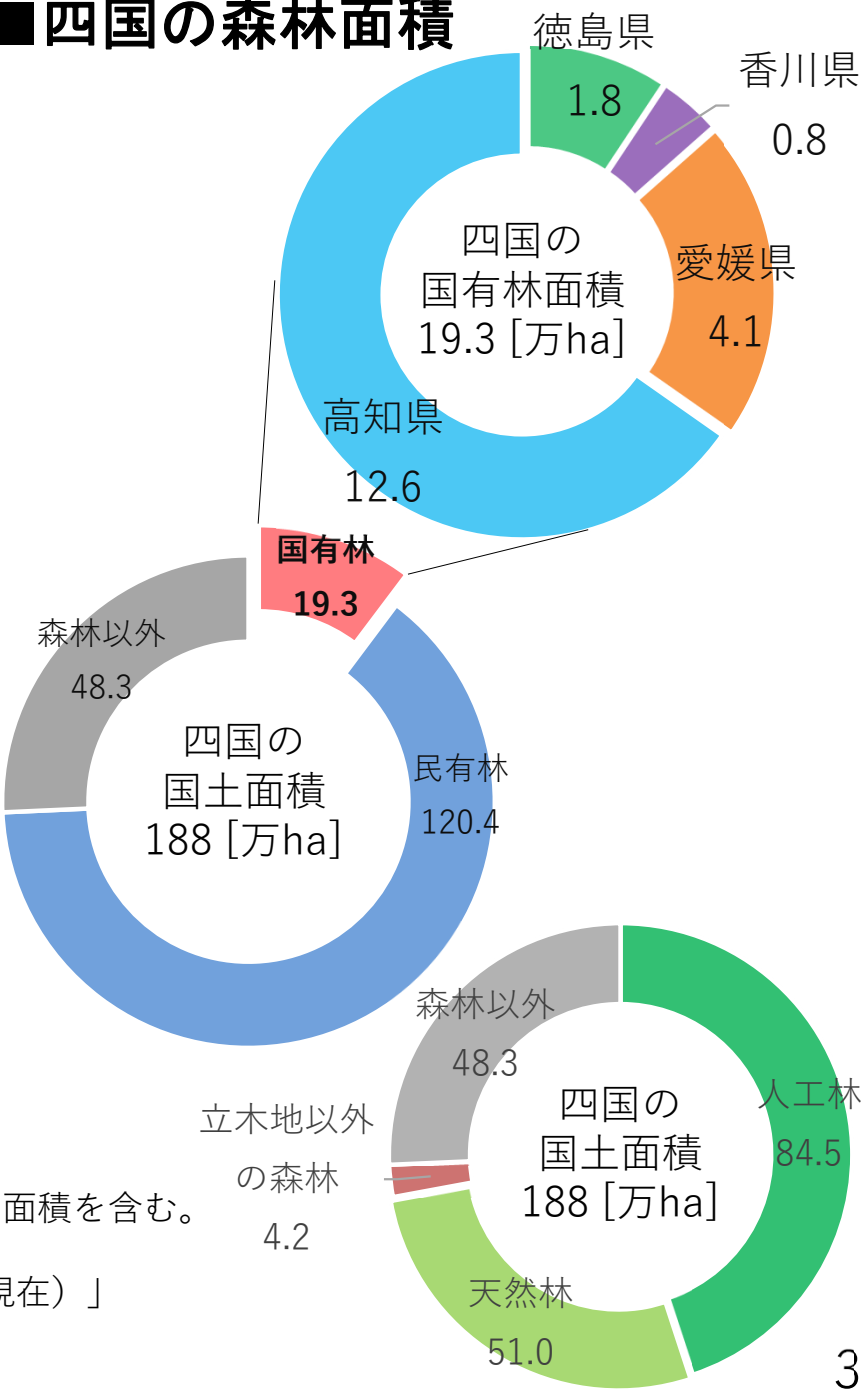
1.1) 四国の森林の概要



■四国の森林の概要

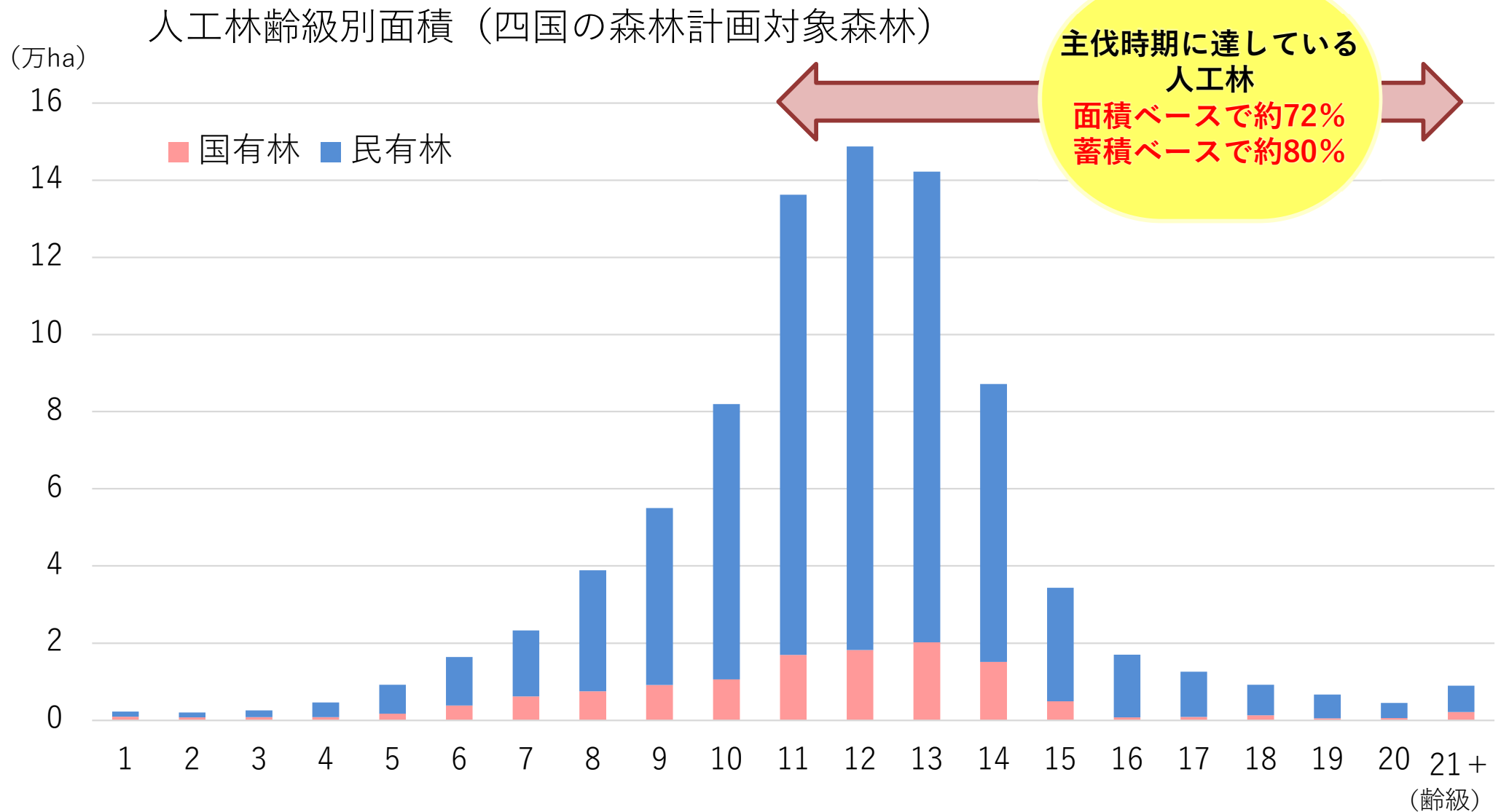
都道府県	森林			国有林		人工林	
	面積 (万ha)	森林率	森林蓄積 (万m3)	面積 (万ha)	国有林率	面積 (万ha)	人工林率
徳島県	31.5	76% 全国9位	10,396	1.8	6%	19.0	60% 全国9位
香川県	8.8	47% 全国37位	713	0.8	9%	2.3	27% 全国43位
愛媛県	40.1	71% 全国19位	12,422	4.1	10%	24.4	61% 全国6位
高知県	59.4	84% 全国1位	20,777	12.6	21%	38.7	65% 全国2位
四国計	139.8	74%	44,309	19.3	14%	84.5	60%
全 国	2,502.5	67%	556,020	765.7	31%	1,009.3	40%

■四国の森林面積



注1：計の不一致は四捨五入による。
注2：国有林面積には官行造林地、計画対象外国有林、他省庁所管国有林の面積を含む。
資料：林野庁 統計情報「森林資源の現況（令和4年3月31日現在）」、
林野庁 統計情報「都道府県別森林率・人工林率（令和4年3月31日現在）」

1.2) 人工林の齢級別・樹種別面積



注1：齢級とは、林齢を5年の幅でくくった単位。

人工林は苗木を植栽した年を1年生とし、1～5年生を「1齢級」と数える。

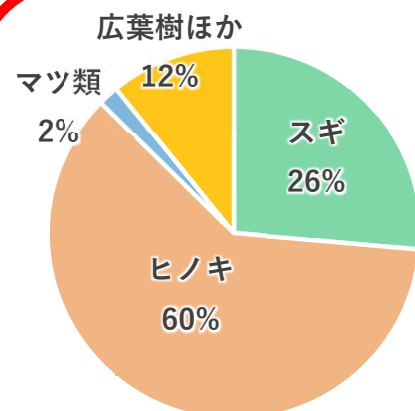
2：国有林には官行造林地を含む。

資料：林野庁 統計情報「森林資源の現況（令和4年3月31日現在）」

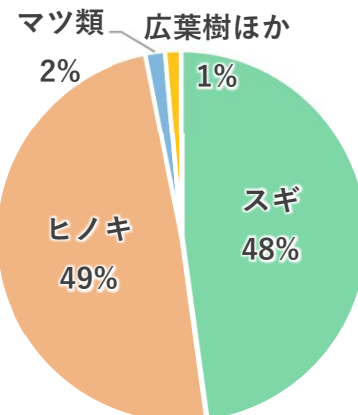
1.2) 人工林の齢級別・樹種別面積



愛媛県 人工林樹種別割合

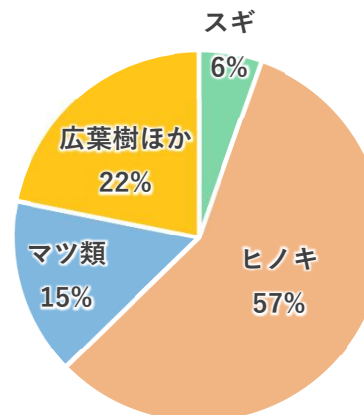


(国有林)

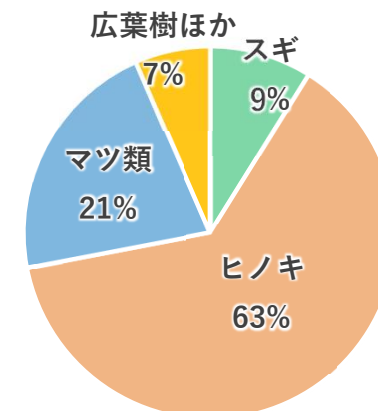


(民有林)

香川県 人工林樹種別割合

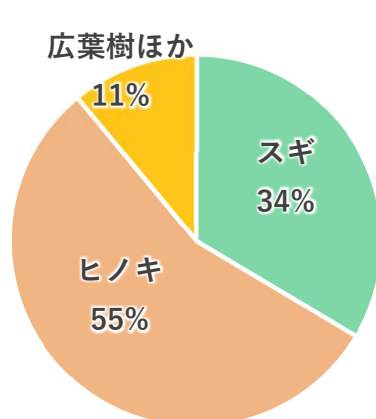


(国有林)

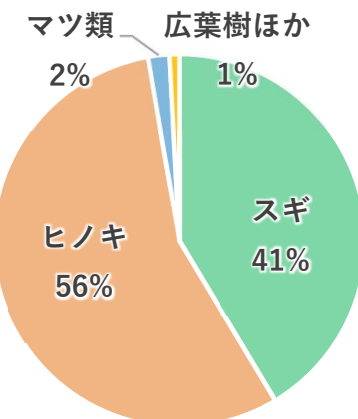


(民有林)

高知県 人工林樹種別割合

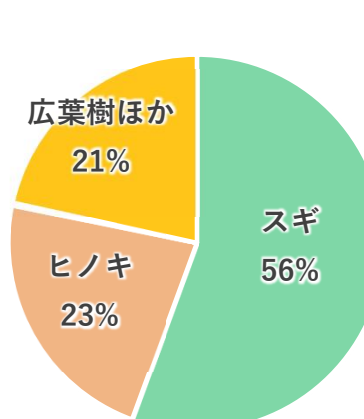


(国有林)

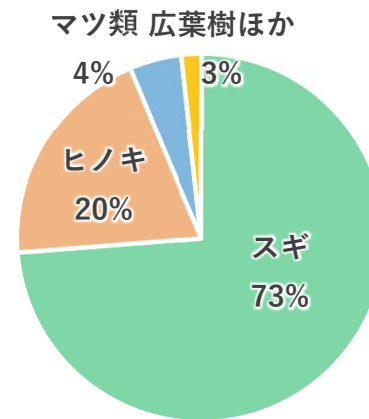


(民有林)

徳島県 人工林樹種別割合



(国有林)

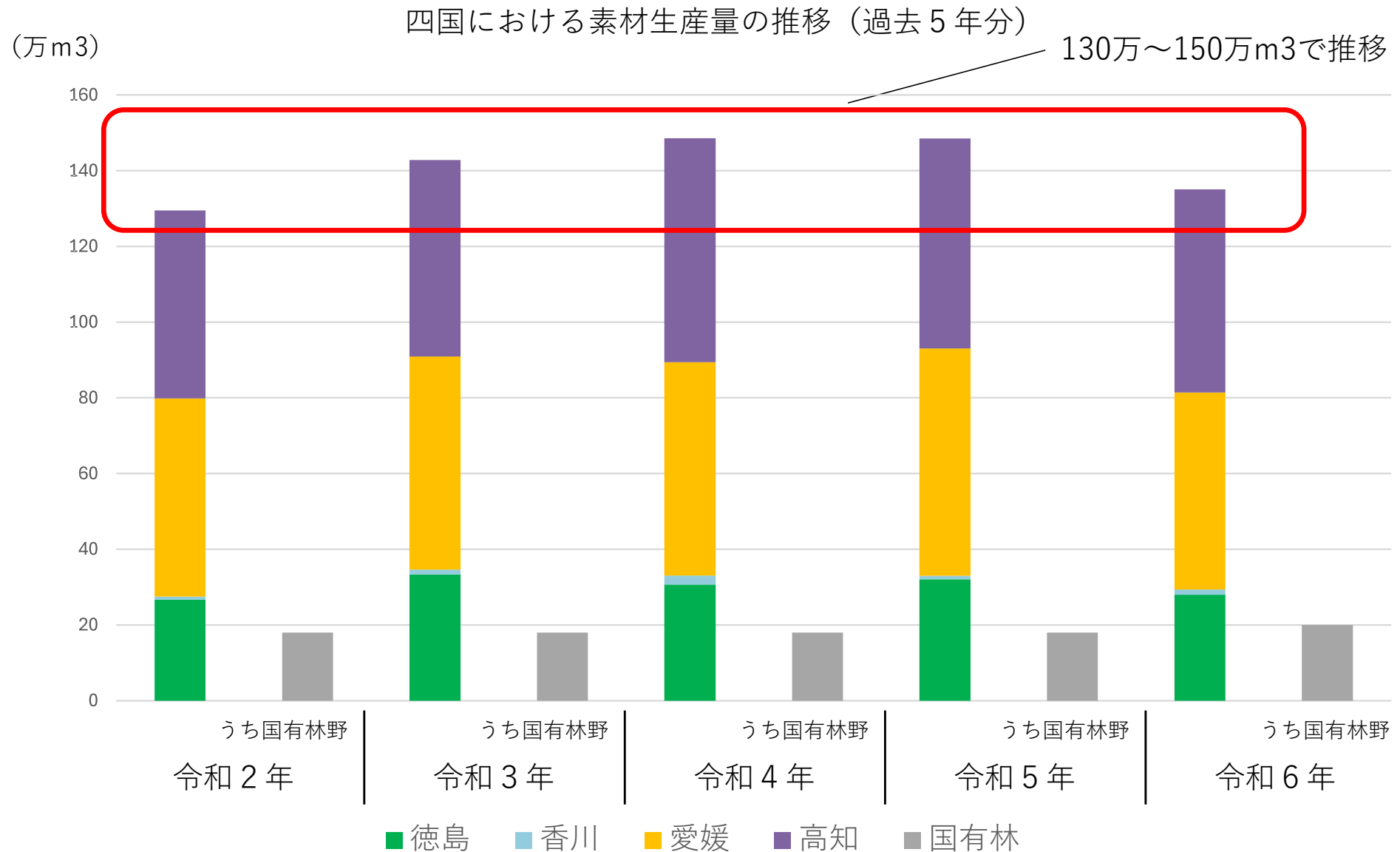


(民有林)

注：国有林には官行造林地を含む。

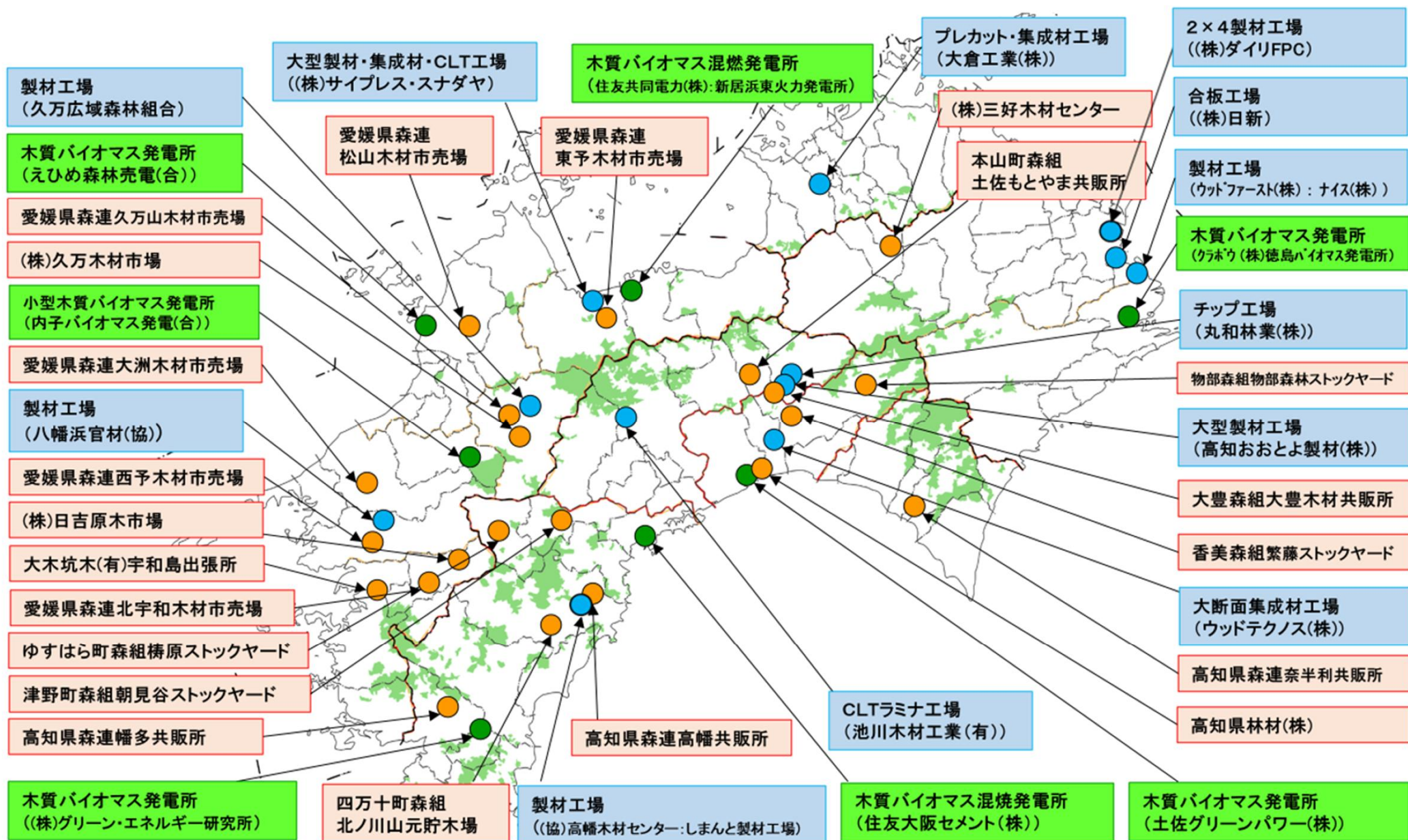
資料：林野庁 統計情報「森林資源の現況（令和4年3月31日現在）」

1.3) 素材生産量の推移



資料：農林水産省「木材需給報告書」（R2～R5年）、
農林水産省「木材統計」（R6年）、
四国森林管理局「四国森林管理局事業統計書」（R2～R6年）

1.4) 大型製材工場、木質バイオマス発電所等の位置



大型製材工場等



木質バイオマス発電所



木材市場

スライド 8

る稲1 同心円の意味がよくわからないので、削除したほうがいいのかでは
稲澤 るみ(INAZAWA Rumi),

裕松1 0 削除しました
松本 裕子(MATSUMOTO Yuko),



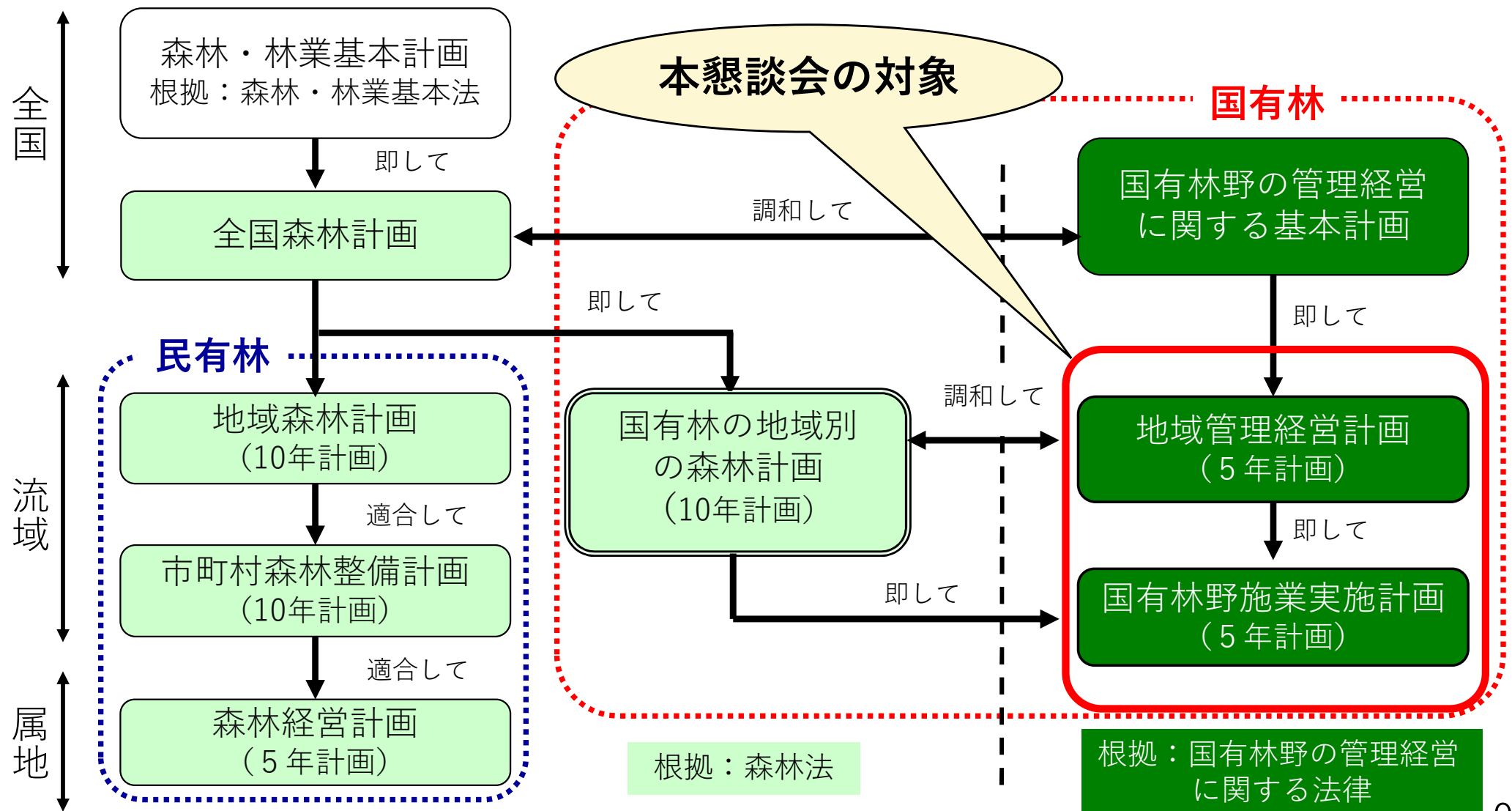
1	四国の森林・林業	1) 四国の森林の概要	3
		2) 人工林の齢級別・樹種別面積	4
		3) 素材生産量の推移	6
		4) 大型製材工場、木質バイオマス発電所等の位置	7
2	森林計画制度	1) 我が国の森林計画制度	9
		2) 四国の森林計画区	10
		3) 森林計画策定のプロセス	11
3	現行の国有林野の 森林計画の概要	1) 肱川森林計画区の特徴	13
		2) 機能類型区分	15
		3) 主要事業の実施状況	18
		4) 特に効率的な施業を推進する森林	19
		5) 木材の安定供給への取組	22
		6) 地域に貢献する国有林	23
		7) 森林・林業技術者等の育成支援	24
		8) レクリエーションの森	25
		9) 保護林	26
		10) 国有林の維持・保全	27
		11) 民有林との連携	28
		12) 生物多様性に配慮した森林施業	29

2.1) 我が国の森林計画制度



○森林の有する多面的機能（国土の保全・水源の涵養・生物多様性の保全・地球温暖化の防止・木材の生産等）が持続的に発揮されるよう、森林を計画的に整備・保全する必要がある。

○計画的な森林の整備・保全により林業の担い手を確保し、林業を積極的かつ健全に発展させる。



- 凡例

国有林野

計画策定

策定年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
徳島県	吉野川		那賀・海部川
香川県			
愛媛県	南予	肱川	中予山岳

策定年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
徳島県	吉野川		那賀・海部川		
香川県					香川
愛媛県	南予	肱川	中予山岳	東予	今治松山
高知県	四万十川	安芸	嶺北仁淀	高知	

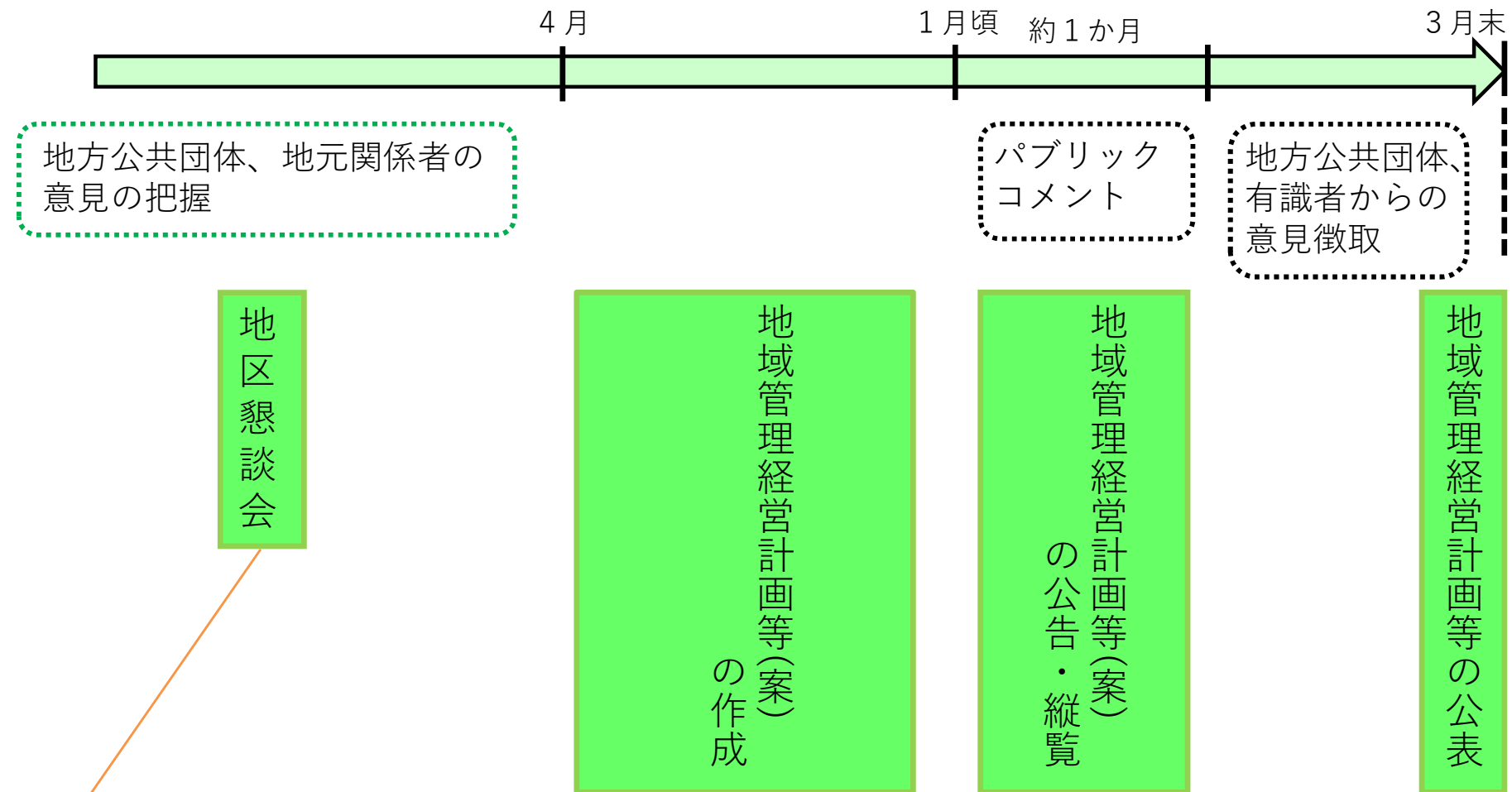
2.3) 森林計画策定のプロセス



(肱川森林計画区)

R 8 年度

R 9 年度(策定年度)



本日の【地区懇談会】

地域管理経営計画等の計画策定に着手する段階で、地域の多様な関係者からのご意見をいただく場として設定



1	四国の森林・林業	1) 四国の森林の概要	3
		2) 人工林の齢級別・樹種別面積	4
		3) 素材生産量の推移	6
		4) 大型製材工場、木質バイオマス発電所等の位置	7
2	森林計画制度	1) 我が国の森林計画制度	9
		2) 四国の森林計画区	10
		3) 森林計画策定のプロセス	11
3	現行の国有林野の 森林計画の概要	1) 肱川森林計画区の特徴	13
		2) 機能類型区分	15
		3) 主要事業の実施状況	18
		4) 特に効率的な施業を推進する森林	19
		5) 木材の安定供給への取組	22
		6) 地域に貢献する国有林	23
		7) 森林・林業技術者等の育成支援	24
		8) レクリエーションの森	25
		9) 保護林	26
		10) 国有林の維持・保全	27
		11) 民有林との連携	28
		12) 生物多様性に配慮した森林施業	29

3.1) 肱川森林計画区の特徴



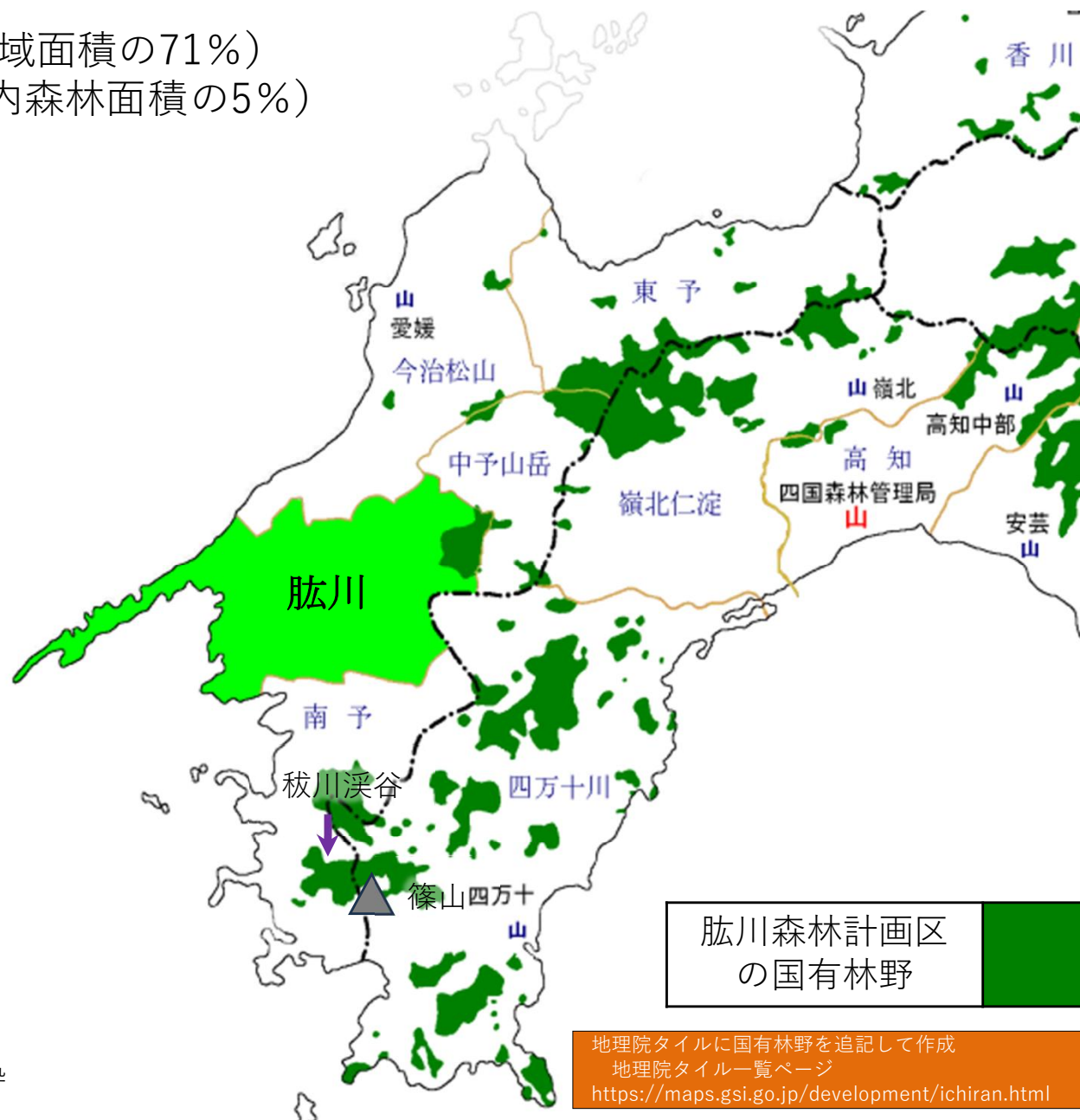
肱川計画区の範囲：愛媛県西部

大洲市、八幡浜市、西予市、内子町、伊方町

○区域面積 14万7千ha

○森林面積 10万5千ha（区域面積の71%）

○国有林野面積 5.5千ha（区域内森林面積の5%）

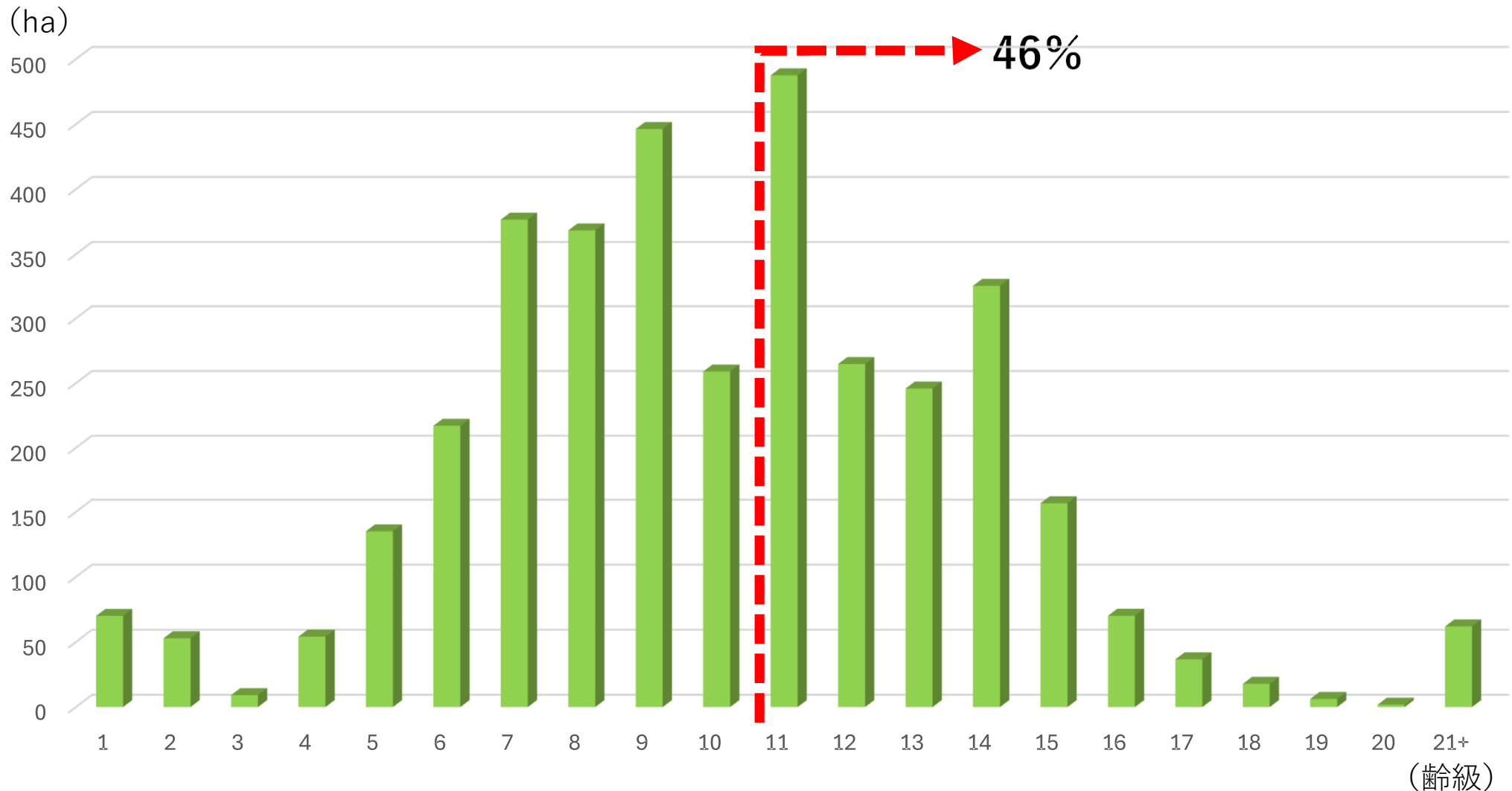


3.1) 肱川森林計画区の特徴



○肱川森林計画区の国有林野で、利用可能な段階を迎えている11齢級以上（51年生以上）の人工林は46%。

人工林の齢級別林地面積（肱川森林計画区のうち国有林野）

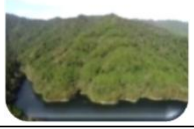


注1：国有林野施業実施計画R8.4.1樹立時データによる。

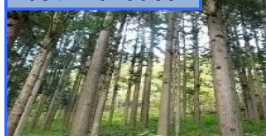
2：表中の林地面積には官行造林を含まない。

3.2) 機能類型区分



機能類型区分	機能類型区分の考え方	施業方法
山地災害防止タイプ 	土砂流出・崩壊防備エリアと気象害防備エリアの2つに区分して取り扱う。 ○土砂流出・崩壊防備エリア 土砂の流出、崩壊等山地災害による人命・施設の被害の防備を目的とする森林 ○気象害防備エリア 風害、飛砂、潮害、濃霧等の気象害による居住・産業活動に係る環境の悪化の防備を目的とする森林	育成複層林施業 天然生林施業
自然維持タイプ 	原生的な森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存等、自然環境の保全に係る機能を重点的に発揮させることを目的とする森林	育成複層林施業 天然生林施業
森林空間利用タイプ 	スポーツ又はレクリエーション、教育、文化、休養等の活動の場や優れた景観の提供及び都市又はその周辺の風致の維持に係る機能を重点的に発揮させることを目的とする森林	育成単層林施業 育成複層林施業 天然生林施業
快適環境形成タイプ	汚染物質の吸着能力が高く、かつ、抵抗性があり、葉量の多い樹種によって構成される森林	※四国の国有林野では該当なし
水源涵養タイプ 	国民生活に欠かせない良質で豊かな水の供給に係る機能を重点的に発揮させることを目的とする森林	育成単層林施業 育成複層林施業 天然生林施業

育成単層林



樹齢・樹高が単一の森林として人為により成立・維持

育成複層林



樹齢・樹高が複数の森林として人為により成立・維持

天然生林



自然散布の種子の発芽・生育等、天然力により成立・維持

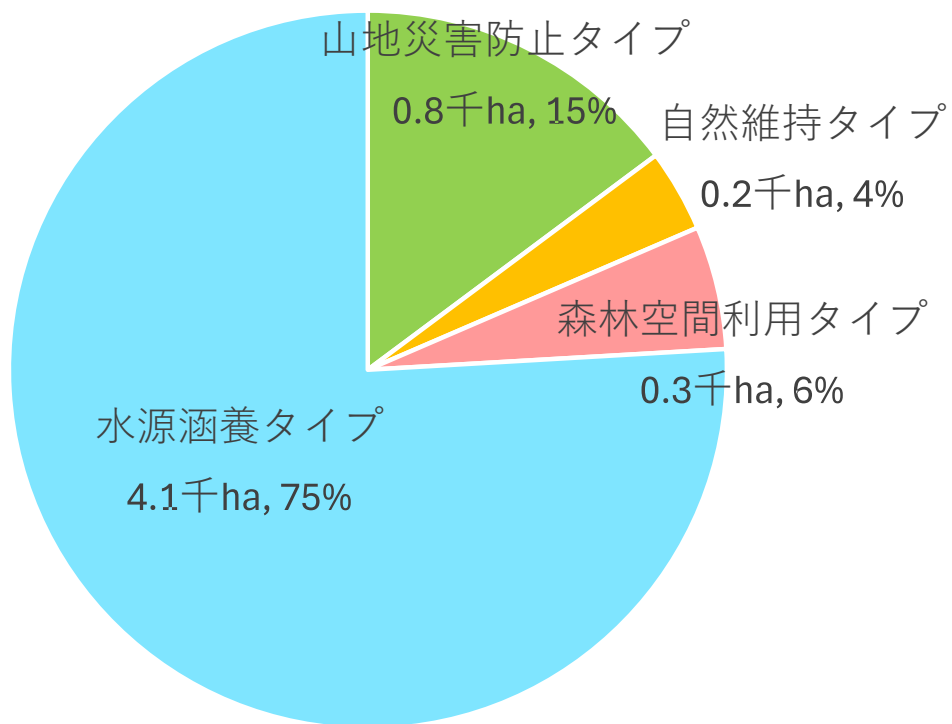
3.2) 機能類型区分



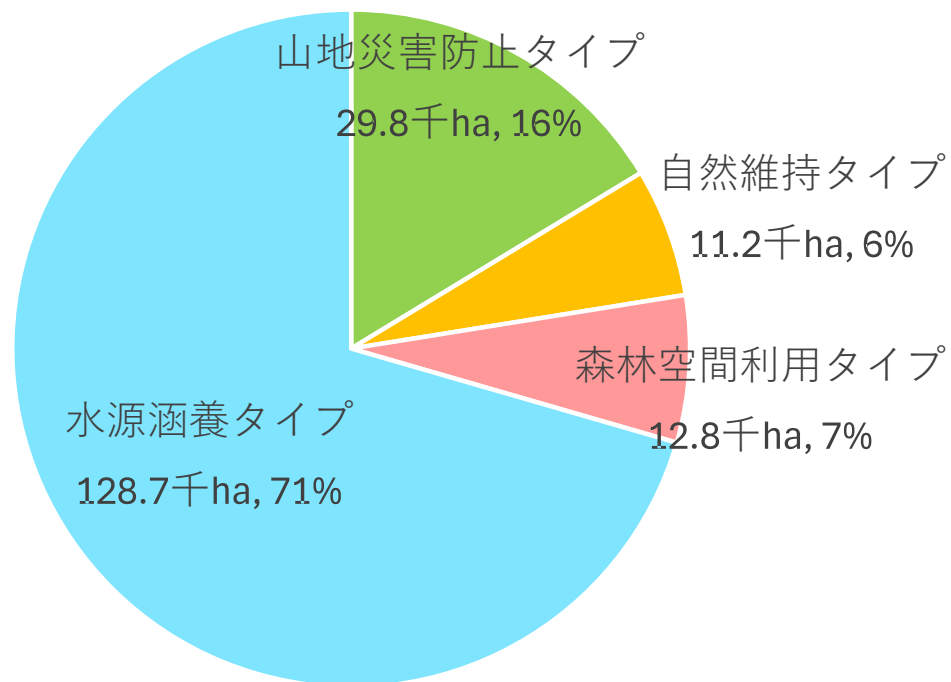
○肱川森林計画区では、四国の平均と比較して、水源涵養タイプの割合が大きく、山地災害防止タイプ、自然維持タイプ、森林空間利用タイプの割合が小さい。

る稲1

肱川森林計画区内の国有林野の機能類型区分



四国の国有林野の機能類型区分



注1：国有林野施業実施計画R8.4.1樹立時データによる。
 2：四捨五入のため割合は100%にならないことがある。

スライド 17

る稲1

○四国局の平均と比較して、肱川森林計画区では水源涵養機能を重視した構成となっている。を追記しては。
稲澤 るみ(INAZAWA Rumi),

貴見1 0

安芸ぐらい顕著な差があれば良いですが、肱川は誤差の範囲かなと個人的には思うところ。下の人工林率など考えられる水涵タイプが多い要因のいくつかでもわかれば良いですが、水涵重視の理由を聞かれた場合の答えがないのならやめた方が良いでしょう。
見市 貴司(MIICHI Takashi),

忠帆1 1

消します。
帆足 忠広(HOASHI Tadahiro),

貴見2

上記に関連して、肱川の国有林野の人工林率と四国の国有林野の人工林率をスライドの表示部分外にメモっておいてください。
見市 貴司(MIICHI Takashi),

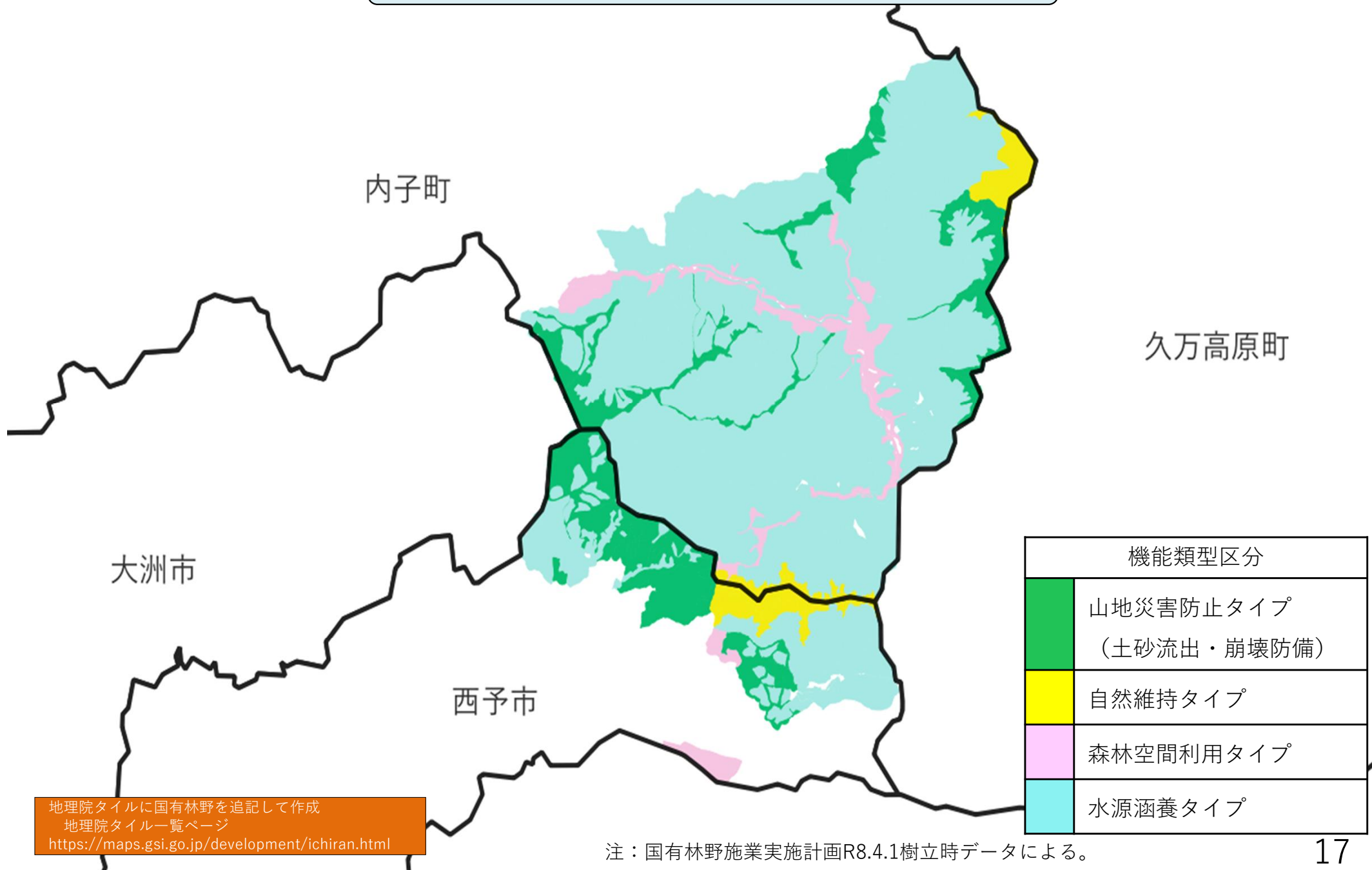
裕松2 0

肱川・安芸ともに右下に追加しました
松本 裕子(MATSUMOTO Yuko),

3.2) 機能類型区分



肱川森林計画区内の国有林野の機能類型区分



3.3) 主要事業の実施状況



主要事業量

【肱川森林計画区の国有林野】

		計画量 (令和5年度 ～ 令和9年度)	実績量 (令和5年度 ～ 令和8年6月まで)	進捗率
伐採	主伐 (m3)	72,790	21,386	29%
	間伐 (m3)	119,043	64,172	54%
	合計	191,833	85,558	45%
造林・保育	人工造林 (ha)	83	31	37%
	下刈 (ha)	210	65	31%
	除伐 (ha)	72	15	21%
	つる切 (ha)	5	0	0%
林道	開設 (m)	—	—	—
	改良 (m)	2,000	0	0%
治山	保全施設 溪間工 (箇所)	4	0	0%
	保全施設 山腹工 (箇所)	—	—	—
	保安林の整備 (ha)	117.40	9.03	8%



注：計画量は、第六次国有林野施業実施計画書（肱川森林計画区）による。

3.4) 特に効率的な施業を推進する森林



特に効率的な施業を推進する森林（効率施業森林）の設定の背景等

■ 現状と対応方針

- 国有林野事業では、その組織・技術力・資源を活用して民有林に係る施策を支え、森林・林業施策全体の推進に貢献していくこととしている。
- このような中、森林・林業基本計画では、「新しい林業」の実現に向けた取組の展開、担い手の育成、国産材の安定供給体制の構築等が課題。

公益重視の管理経営を推進しつつ、上記の「新しい林業」の実現に向けた効率的な施業の実施や民有林関係者への普及、担い手の育成等の取組を効果的に進めるため、林地生産力や地形等の自然条件や路網整備状況等の社会的条件が良い人工林を特定することとする。

■ 取組内容

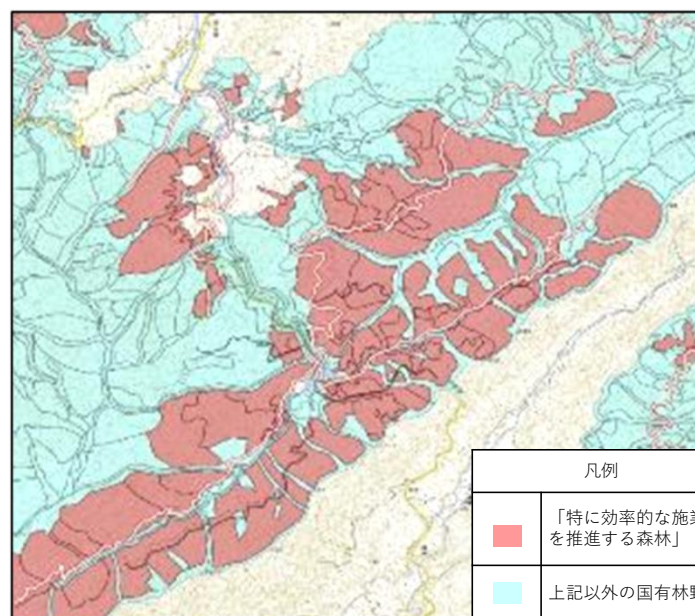
「特に効率的な施業を推進する森林」の設定

- 水源涵養タイプの人工林のうち、**林道等からの距離が近く、地位が比較的高く、傾斜が比較的緩い森林を「特に効率的な施業を推進する森林」として設定。**
- 地域の民有林関係者等に「特に効率的な施業を推進する森林」の対象森林が明らかとなるよう、地域管理経営計画等に当該森林を位置付け、公表。

「特に効率的な施業を推進する森林」での取組

- 自然条件等の良い人工林であることから、水源涵養機能の発揮に支障を生じさせない範囲で、以下の取組を推進。
 - ・ **造林の省力化・低コスト化等の「新しい林業」の実現に向けた効率的な施業の実施**や、現地検討会を通じた民有林関係者等への普及
 - ・ **事業発注**を通じた林業事業体の育成
 - ・ **樹木採取権**による林業経営体の経営基盤の強化や分収造林を活用した経営規模拡大の支援等

■ 「特に効率的な施業を推進する森林」の設定と運用のイメージ



「新しい林業」の実現に向けた効率的な施業の実施と民有林への普及

事業発注を通じた林業事業体の育成

木材の安定供給に資する林道の機能強化

このほか、分収造林新規契約やレーザ計測・解析等を優先的に実施

これらの取組を通じて、地域の国産材の安定供給体制の構築や将来的な森林吸収量の確保・強化にも貢献

スライド 20

る稲1

唐突感・・・難しいなあ。。。
稲澤 るみ(INAZAWA Rumi),

森林

～地位・傾斜・車道からの距離で区分した場合～

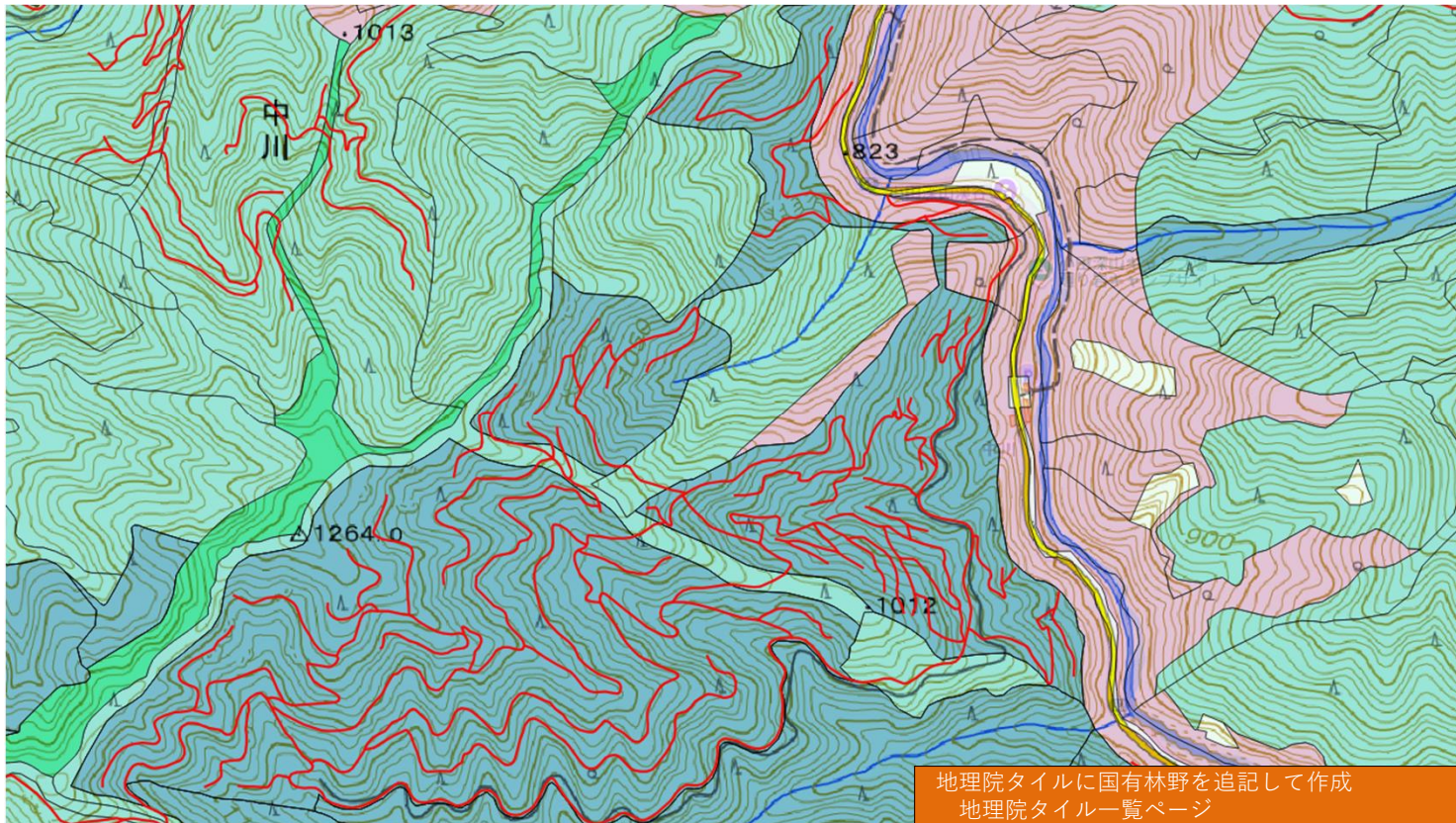
区 分		【地形・土地の生産性の観点】			
		高 ←		→ 低	
		傾斜35度未満（中以下）		傾斜35度以上	
		地位：高（8以上）	地位：中（5～7）	うち傾斜35度未満 かつ 地位：高～中	又は 地位：低（4以下）
【経済性の観点】	高 ↑	車道からの距離 300m未満	I A 積極的な 主伐・再造林 (育成単層林を維持)	II 状況に応じて判断	III B 複層林化等 (育成複層林へ誘導)
	低 ↓	車道からの距離 300m以上	IV C 長伐期化 (育成単層林を維持)	V 状況に応じて判断	VI D 自然遷移 (育成複層林へ誘導)

20

3.4) 特に効率的な施業を推進する森林



特に効率的な施業を推進する森林（効率施業森林）の設定の例



地理院タイルに国有林野を追記して作成
 地理院タイル一覧ページ
<https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>

森林 計画区	水涵タイプ 人工林面積 a (ha)	効率施業 森林 面積 b (ha)	割合 b/a (%)
肱川	3,268	944	29

国有林野の凡例	
	水源涵養タイプ
	水源涵養タイプのうち効率施業森林
	森林空間利用タイプ
	山地災害防止（土砂）タイプ
	林道、作業道

注 1：小数点以下は四捨五入。

2：国有林野施業実施計画R8.4.1樹立時データによる。

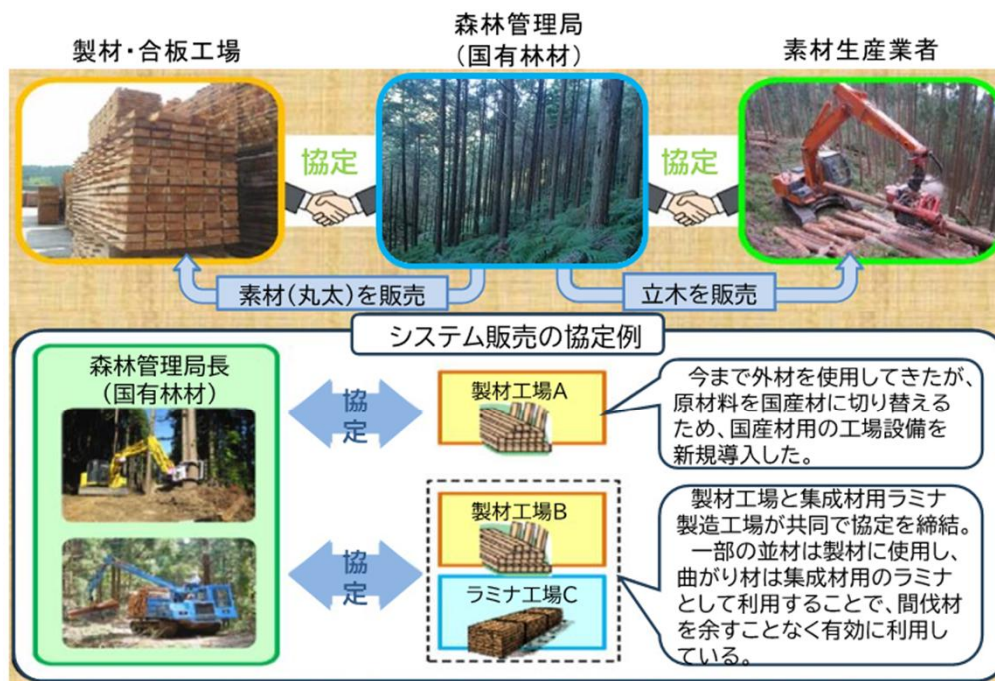
3.5) 木材の安定供給への取組



地域の需要を踏まえつつ、計画的に木材を生産し、国産材の安定的な供給

- 安定供給システム** 国産材の安定的な供給の実現に向け、国有林材（素材）の安定供給システム販売等を推進していきます。
- 複数年契約事業** 林業事業体の経営や雇用の安定及び効率的な事業実施に資するため、複数年にわたる事業の発注を推進しています。

■ 国有林材の安定供給システム販売の仕組



※システム販売の対象は、素材(丸太)と立木。協定の相手方は、製材工場、木材加工業者、原木市場、素材生産業者等。

※立木のシステム販売は、複数年(3年以内)の協定、搬出期間は売買契約から原則3年以内。

■ 愛媛森林管理署の国有林材の供給量

(単位：千m³)

愛媛署の供給量	R 5 (実績)	R 6 (実績)	R 7 (実績)	R 8 (予定)
供給総量	55.5	54.0	49.2	62.0
素材販売	52.7	47.0	49.0	52.6
うちシステム販売	25.8	26.8	28.5	32.2
うち複数年契約	8.6	3.0	9.3	10.2
立木販売(立木材積)	2.8	7.0	0.2	61.8

■ 愛媛森林管理署の複数年契約事業

事業年度	所在地	国有林名	面積	予定数量
令和8～10年度 (3か年)	上浮穴郡 久万高原町	黒滝山75	77ha	8,800m³
	北宇和郡松野町	久米治奥山2075	92ha	9,500m³
以下、既事業実行中の箇所				
令和7～9年度 (3か年)	上浮穴郡 久万高原町	河ノ子山1	48ha	3,300m³
	南宇和郡愛南町	大久保山3084	78ha	10,000m³

3.6) 地域に貢献する国有林



森林整備・治山対策等の計画的な実施、安全・安心な暮らしの実現

- 森林整備・路網整備** 森林の多面的機能の発揮に向け、植栽、保育、間伐及び主伐後の再造林等を計画的に実施。また、森林施業や木材輸送の効率化を図るため路網整備を進めるとともに、林道の改良等による路網の強靱化・長寿命化を推進。
- 治山対策** 大雨や短時間強雨の増加に伴い激甚化・多発化する自然災害から地域の安全・安心を確保するため、治山施設の整備や森林の適切な管理を通じて、土砂流出の防止及び森林の保水機能の維持・向上を推進。
- 災害発生時の迅速な対応**
 - ・ LiDAR搭載測量機器やドローンを活用し、災害調査及び情報収集の効率化・迅速化を推進。
 - ・ 災害関連緊急事業等により地域の安全・安心の確保に取り組むとともに、自治体との連携訓練等を通じて災害対応力を強化。
 - ・ 林野火災については、平時からの予防啓発や連絡体制の整備を進め、発生時には関係機関と連携して対応。



保育間伐（活用型）



林道改良（災害復旧）

※レーザ光の照射により距離や形を測定する技術



災害時情報収集訓練



林野火災跡地



谷止工

愛媛署の事業量	R 5（実績）	R 6（実績）	R 7（実績）	R 8（予定）
森林整備（間伐）	489ha	576ha	505ha	540ha
森林整備（林道）	1 件	—	2 件	4 件
うち新設	—	—	1 件 国債1	—
うち改良（災害復旧）	1 件 明許1	—	1 件 明許1	4 件 事故1 明許1 経常2
治山対策	3 件 明許3	—	3 件 翌債2 経常1	4 件 翌債2 経常2

スライド 24

る稲1

フォントが上段落と比べ小さい
稲澤 るみ(INAZAWA Rumi),

3.7) 森林・林業技術者等の育成支援



森林・林業を担う人材育成に貢献

- 南予森林アカデミーに対し、国有林野のフィールド提供及び講師派遣を実施し、地域林業を担う人材の育成・確保を支援。
- 愛媛大学農学部生のインターンシップ（就業体験実習）を受け入れ、森林・林業の現状や野外調査、治山・林道業務、森林官業務等の体験・学習を支援。
- 上記のほか、森林・林業に係る現地検討会等を開催し、技術・知識の普及及び関係者間の連携強化を推進。

■ 南予森林アカデミーの実習



一貫作業システム及び
コンテナ苗植付研修



OWLを用いた
立木調査研修

■ 愛媛大学農学部生のインターンシップ



署での座学実習の様子



治山現場実習

3.8) レクリエーションの森



- 優れた自然景観を有し、森林浴や自然観察、野外スポーツ等に適した森林を「レクリエーションの森」に選定し、広く国民に森林レクリエーションの場として提供。
- 森林とのふれあいの場を提供するとともに、観光、環境教育、地域振興など幅広い役割。

■ 小田深山溪谷風景林

土佐湾に注ぐ仁淀川の支流黒川の上流に位置し、溪谷をはさんだ带状の区域で、標高は700mから1,320mの範囲に属している。

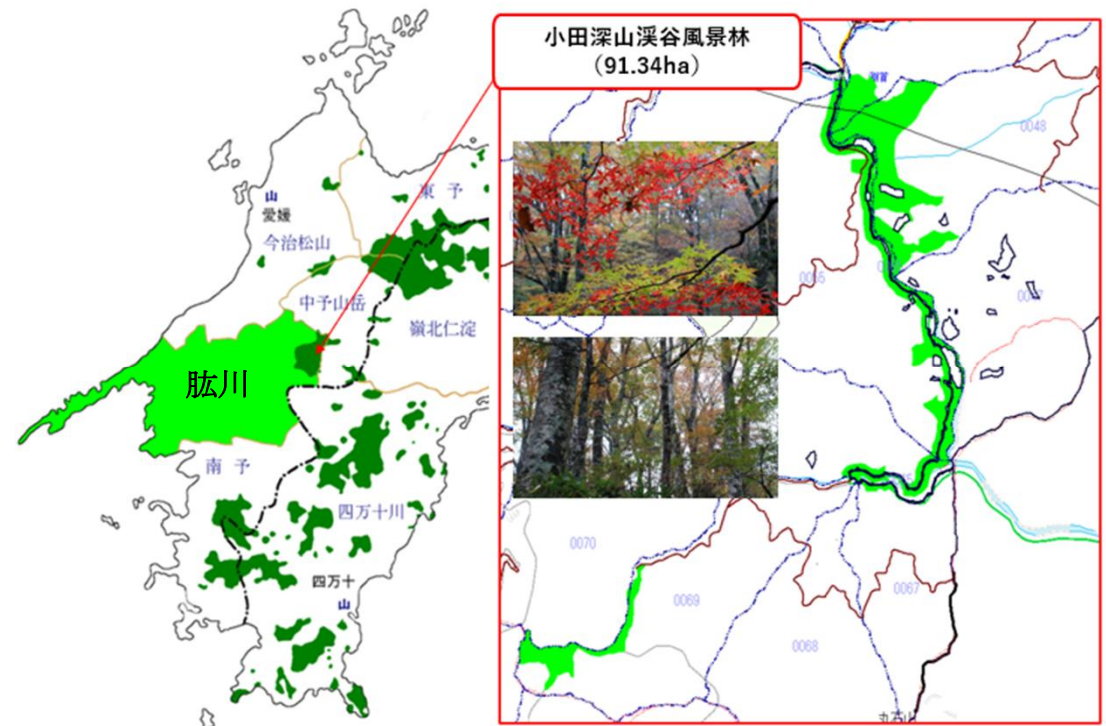
本地の景観の中心は溪谷美である。

モミ、ツガ、カエデ等の天然林に覆われた溪流は、初夏の新緑や秋の紅葉に映え随所に深淵や懸崖等の奇勝をつくっている。

また、この森に隣接して数箇所の鍾乳洞が点在している。



喜多郡内子町

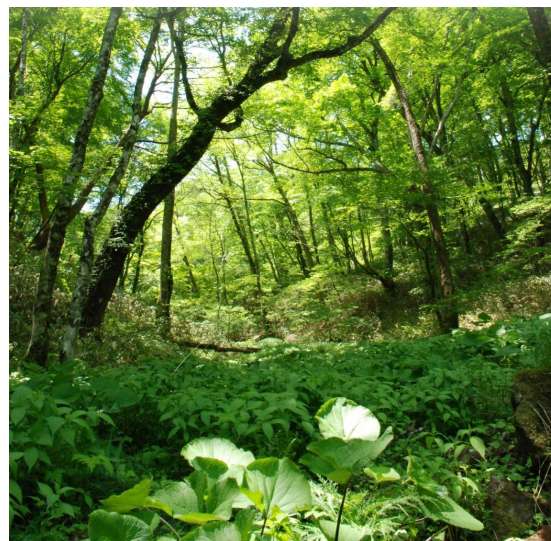
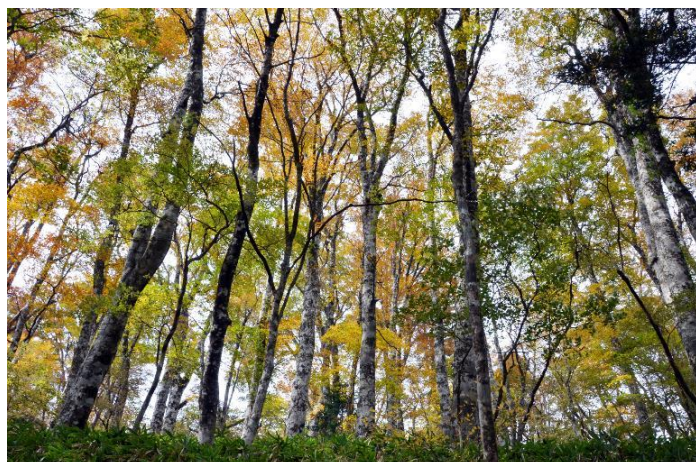


3.9) 保護林



- 国有林では、原始的な森林、希少な遺伝資源を有する森林及び地域を代表する植生群落を有する森林を「保護林」に指定し、その目的に応じた保護・管理を実施。
- 肱川森林計画区には、「小田深山ブナ（遺伝資源）希少個体群保護林」を設定しており、定期的なモニタリング調査を実施し適切な保護・管理を推進。

■ 小田深山ブナ（遺伝資源）希少個体群保護林



■ 令和7年度保護林モニタリング調査で確認した希少種



愛媛県西予市、内子町にまたがって所在、仁淀川水系黒川上流部の四国カルストの近くに位置する。

スライド 27

る稲1

昨年度の保護林モニタリングの写真を追加
保護林の写真を差し替え
稲澤 るみ(INAZAWA Rumi),



獣害対策の推進

- 深刻化するニホンジカ被害に対応するため、植栽木の防護柵の設置や囲いわなによる捕獲を実施。
- 県内では民有林を含めシカによる被害が拡大しており、生息数の多い南予地域に加え、石鎚山系（東予・中予）においても被害が増加していることから、委託事業による囲いわな捕獲を推進。
- 南予地域では、民間企業との協定に基づく捕獲にも取り組み、シカ被害の軽減を推進。



「囲いわな」とニホンジカ

捕獲実績	R5	R6	R7	R8 (予定)
東予地域	—	—	4	10
中予地域	3	6	6	10
南予地域	23	22	34	20

■ 「ついでの捕獲」協定



日頃から定期的に、国有林内に立ち入ることがある事業者と、「ついでの捕獲」協定を締結。事業地周辺や通勤経路に設置したわなの見回りと捕獲を協力依頼。

3.11) 民有林との連携

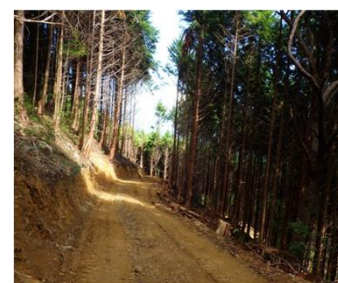


- 国有林では民有林と連携し、「森林共同施業団地」の設定により路網整備や間伐等の森林施業を集約化。林道・作業道の共同利用を通じて、木材の安定供給及び搬出・運搬の効率化を推進。
- 愛媛森林管理署と鬼北町は、林道や作業道の路網を相互に利用し、鬼北町奈良地区に位置する鬼北町有林と国有林の森林整備を一体的に行うため、令和6年3月、「鬼北町奈良地区森林共同施業団地」の設定を内容とする森林整備推進協定を締結。
- 民有林における施業の集約化の推進に資するよう、区域の拡大についても検討することとしている。

■ 鬼北町との森林整備推進協定の概要

協定名	鬼北町奈良地区森林整備推進協定
協定対象森林面積	204ha (鬼北町有林：58ha、国有林：146ha)
協定締結者	鬼北町長、 鬼北町近永地区町有林管理組合長、 愛媛森林管理署長
協定締結のメリット	鬼北町は、愛媛森林管理署が開設・修繕した作業道や国有林林道を活用して、鬼北町有林の森林整備を行い、木材搬出ができる。愛媛森林管理署は、鬼北町が修繕した林道を活用して、立木販売箇所の木材搬出ができる。

■ 鬼北町奈良地区森林整備推進協定位置図



路網を相互に利用

スライド 29

稲1

推進協帝のスライドを追加→採用するなら目次を変更
稲澤 るみ(INAZAWA Rumi),

5.12) 生物多様性に配慮した森林施業

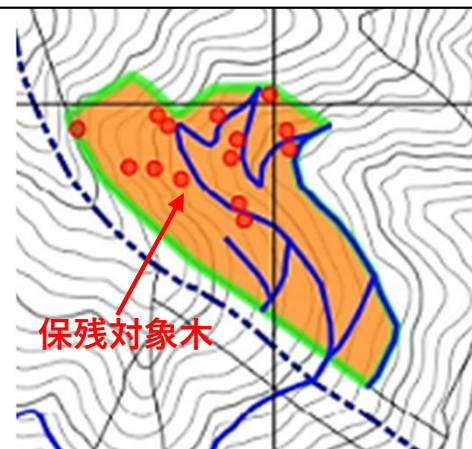


○生物多様性に配慮した森林施業として、間伐や主伐（皆伐、複層伐）を実施する際、伐倒作業で安全上支障のない一部の高木性広葉樹等を保残・保持する取組を推進。

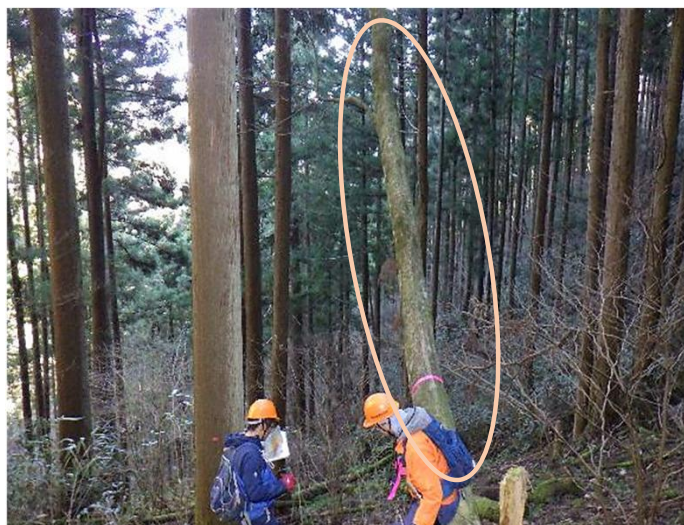
○内子町内の小田深山国有林において、研究機関、大学や県担当者等と生物多様性に配慮した森林施業に関する現地検討会を開催し、現在、高木性広葉樹等を保残する森林整備を実施中。

特記仕様書（生物多様性保全関連）（抜粋）

1 標識テープにより明示している立木は、保残対象木であり、伐倒せずに保残すること。



小田深山国有林の森林整備事業では、特記仕様書や図面で保残対象木の取り扱い等を明示。



愛媛署職員による小田深山国有林での保残対象木の選木作業（令和7年12月）



小田深山国有林での現地検討会の様子（令和8年3月）



保残された対象木（令和8年7月撮影）

スライド 30

- る稲1** 生物多様性のスライドを追加→採用するなら目次へ反映
稲澤 るみ(INAZAWA Rumi),
- 忠帆2** 2 ポツ目と3 ポツ目を入れ替え、重複する文言を削除するなど少し修文しました。
帆足 忠広(HOASHI Tadahiro),
- 忠帆2 0** 説明メモは、国有林では、高木性広葉樹等を保残・保持する取組を推進 → 愛媛署においても同取組を実施 → 現地検討会を開催 という流れにしました。
帆足 忠広(HOASHI Tadahiro),

ご清聴ありがとうございました！



森林の環(もりのわ)応援団

This image shows a blank sheet of white paper with ten horizontal dashed lines spaced evenly apart, resembling notebook paper. The lines are thin and black, extending across the full width of the page. There is no text or other markings on the paper.